

ラグビーワールドカップ2019™等

及びその後に向けた 豊田市ビジョン



# 「とよたビジョン」 実績報告書

豊田市

2020年2月作成





# 目次

1	ビジョン作成の経緯	P 2
2	ビジョンの4つの柱	P 3
3	ビジョン達成への主な取組実績	P 4
4	おもてなしイベントについて	P 17
5	ファンゾーンについて	P 18
6	ラグビーワールドカップ2019™	P 19



# 1 ビジヨン作成の経緯

ラグビーワールドカップ2019™を契機に、おもてなしの向上や市民が生涯活躍する社会の実現などのよりよい財産を残すことを目指して、大会およびその後に残る市のまちづくりの方向性を定めた「とよたビジョンver.1」を平成29年6月に作成



## 2 ビジョンの4つの柱

RWC2019等を契機として…

### 柱① まちを元気に！

大会等に市民が触れる、交流の促進

### 柱② ひとが活躍！

人材育成による意識の醸成、スポーツ振興

### 柱③ まちが変わる！

基盤整備、観光都市化、文化振興

### 柱④ まちを魅せる！

先端技術等でシティプロモーション

※RWC2019等：RWC2019（「ラグビーワールドカップ2019」の略称）  
および東京2020（「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の略称）  
を指す。



## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱① まちを元気に！

#### 目指す姿

- 市民と行政が一体となって活動し、成功体験を共有する
- 成功体験が記憶に残り、誇りとなる

#### [区分1]

- 見る・参加する・関わることで大会を身近に感じる

#### **RWC2019愛知・豊田開催支援委員会によるプロモーション、開催準備及び大会運営**

##### ○愛知・豊田ラグビーファンゾーン

- ・平成30年6月23日、豊田スタジアムで開催されたラグビー日本代表戦に併せてスカイホール豊田で実施し、延べ12,459人が来場
- ・大会に向けてファンゾーン及びパークアンドバスライドの試行を実施
- ・市内の全小・中・特別支援学校を対象に、希望した児童生徒をラグビー日本代表戦に招待

##### ○愛知・豊田ラグビーフェスタ

- ・平成28年度から4年連続で豊田スタジアムにて実施
- ・平成28年度、29年度にはトヨタ自動車ヴェルブリッツと海外のクラブチームの試合を実施

##### ○大会開幕に向けた節目イベント

- ・1,000日前、500日前、100日前等の節目イベントを実施

##### ○ファンゾーン

- ・大会期間中にスカイホール豊田で10日間実施（詳細はP18参照）

#### **RWC2019におけるおもてなしイベントの実施**

- ・駅前通りを中心に豊田スタジアムでの試合開催日に実施（詳細はP17参照）



愛知・豊田ラグビーフェスタ2016  
(平成28年7月23日、豊田スタジアム)



大会開幕1,000日前イベント  
(平成28年12月17日、豊田スタジアム)



ステージ（おもてなしイベント）  
(試合開催日、とよしば)



## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱① まちを元気に！

#### 目指す姿

- 市民と行政が一体となって活動し、成功体験を共有する
- 成功体験が記憶に残り、誇りとなる

#### [区分2]

#### ●大会期間中をはじめとする交流機会の創出

#### RWC2019公認チームキャンプの受入れと交流事業

##### ○フレンドシップ校事業

- ・令和元年度、市内の全小・中・特別支援学校を対象に実施
- ・各学校が豊田スタジアムで試合を行う海外チームの7か国から1国を選び、応援寄書や千羽鶴を作成
- ・作成された応援寄書や千羽鶴は各チームの練習会場で披露

##### ○地域交流イベント

- ・令和元年9月にウェールズ代表が崇化館中学校を、10月にイタリア代表が童子山小学校を訪問
- ・児童生徒による国歌の斉唱など歓迎の気持ちを表すおもてなしや、ラグビー体験等を通じた選手との交流事業を実施

##### ○イタリアフェア

- ・令和元年10月6日、在日イタリア商工会議所と連携して豊田市駅前で実施
- ・延べ2,000人が来場
- ・会場では、来場者とイタリア代表選手が写真撮影等を通じて交流

#### 来訪外国人へのおもてなし推進

- ・平成28年度から、豊田市外国人おもてなし市民会議を立ち上げ
- ・多言語ガイドボランティア（登録者数89人）が、大会期間中に活動
- ・多言語ガイドボランティア養成講座を9回実施（平成28年4月から令和元年9月）



地域交流イベント（イタリア代表）  
（令和元年10月、童子山小学校）



ファンミーティング（イタリアフェア）  
（令和元年10月6日、豊田市駅前）



多言語ガイドボランティア活動風景  
（大会期間中、参加館前等）





## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱② ひとが活躍！

#### 目指す姿

- 高いホスピタリティと国際化が共存するまちが実現
- 老若男女問わず市民がスポーツに参画し生涯活躍するまちが実現

#### [区分1]

##### ● 国際交流を推進する人材及びボランティアの育成

#### 国際化に対応できる人材の育成

- ・デトロイト市との交換学生事業を実施
  - (派遣) 平成28年度：高校生8名、平成30年度：高校生8名
  - (受入) 平成29年度：高校生6名、令和元年度：高校生8名
- ・ダービーシャー市に高校生を派遣
  - 平成28年度：16名、平成29年度：15名、平成30年度：15名

#### RWC2019盛り上げボランティア隊の活動支援

- ・とよた学生盛りあげ隊が中京大学祭、消防フェスタで大会のPRを実施

#### RWC2019の大会公式ボランティアの研修・運営及び開催都市独自ボランティア活動の実施

- ・大会に向けて平成29年5月、RWC支援ボランティア事務局を設立
- ・事務局が実施するボランティア活動者の名称を「TRY FOR ALLスタッフ」とし、延べ473人が豊田スタジアムで開催されたラグビートップリーグや平成30年6月のラグビー日本代表戦など、大会までに計5度の活動を経験
- 大会当日の活動
  - ・大会公式ボランティアが大会期間中の23日間で延べ2,584人活動
  - ・開催都市独自ボランティアが試合開催日の3日間で延べ307人活動



TRY FOR ALLスタッフ活動風景  
(平成30年6月、スカイホール豊田等)



大会公式ボランティア活動風景  
(大会期間中、豊田市駅等)



開催都市独自ボランティア活動風景  
(大会期間中、豊田大橋付近等)



## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱② ひとが活躍！

#### 目指す姿

- 高いホスピタリティと国際化が共存するまちが実現
- 老若男女問わず市民がスポーツに参画し生涯活躍するまちが実現

#### [区分2]

#### ●スポーツ推進・健康づくり

#### JFAこころのプロジェクト MIRAIへつなく「夢の教室」

- ・小学校5年生を対象にアスリートが学校の授業を実施
- ・平成28年度から令和元年度までに延べ198校423クラスで実施

#### タグラグビーの普及

- タグラグビー教室（トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が小学生以上を対象に指導）
  - ・平成29年度と30年度に月一回の頻度で実施し、2年間で延べ1,373人が参加
  - ・令和元年度も11月から月1回の頻度で実施中
- タグラグビー体験会（トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が小中学校の授業で指導）
  - ・平成28年度は小学校3校、平成29年度は小学校39校、平成30年度は小学校38校と中学校2校で実施
- タグラグビー研修会（タグラグビー指導者の養成のため実施）
  - ・スポーツ推進委員：平成28年度から研修会を開始し、大会審判や地域での普及を実施
  - ・市内小中学校教員：平成29年度から日本協会や県協会の講師を招いた研修会を実施

#### 豊田市わがまちアスリート応援事業

- ・「豊田市わがまちアスリート」の認定が平成28年4月から開始し、令和元年12月現在で、宇野昌磨選手、姫野和樹選手など22人を認定



夢の教室  
(元名古屋グランパス榑崎正剛選手)



タグラグビー教室



「豊田市わがまちアスリート」認定式  
(姫野和樹選手、令和元年6月24日)





# 3 ビジョン達成への主な取組実績

## 柱② ひとが活躍！

### 目指す姿

- 高いホスピタリティと国際化が共存するまちが実現
- 老若男女問わず市民がスポーツに参画し生涯活躍するまちが実現

### [区分3]

#### ●学校現場での意識の醸成

#### **RWC2019等に向けた教育プログラムの開発・展開**

- 教育委員会の中で、RWC2019等に向けて設置した教育推進委員会が授業プログラムを作成
  - ・ボランティア精神（おもてなし、異文化理解）  
社会科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間で活用できるプログラムを12案作成し、各校はこれらのプログラムを用いて学習を実施
  - ・タグラグビーの普及  
授業の指導案や指導の参考となる動画を作成し、体育の授業等で活用

#### **児童生徒参加の記念イベント及び交流事業の推進**

- ・令和元年9月にウェールズ代表が崇化館中学校を、10月にイタリア代表が童子山小学校を訪問し、児童生徒による国歌の斉唱など歓迎の気持ちを表すおもてなしや、ラグビー体験等を通じた選手との交流事業を実施（再掲）
- ・パラリンピック選手を希望校へ講師として派遣し、「義足体験会」を実施（令和元年度は小学校3校、中学校2校で実施）

#### **RWC2019等にちなんだ学校給食の実施**

- ・平成30年9月から、おおむね隔月で出場9か国の料理を学校給食で提供



選手への質問（イタリア代表）  
（令和元年10月、童子山小学校）



イタリア国歌斉唱  
（令和元年10月、童子山小学校）



イタリアメニュー（学校給食）  
（平成31年1月）



### 3 ビジョン達成への主な実績実績

## 柱② ひとが活躍！

#### 目指す姿

- 高いホスピタリティと国際化が共存するまちが実現
- 老若男女問わず市民がスポーツに参画し生涯活躍するまちが実現

#### [区分4]

##### ●市民等の意識の醸成

#### 市職員および市役所の率先行動に向けた取組

- RWC大会公式サポーターズクラブ
  - ・「RWC大会公式サポーターズクラブ」の登録を全庁に呼びかけ、9割を超える職員が登録
- マグネットシート
  - ・大会をPRするマグネットシートを作成し、平成31年1月から、公用車やごみ収集車約300台に貼付
- ポロシャツ
  - ・平成27年度から、RWC2019開催都市ロゴマークがデザインされたポロシャツを作成し、クールビズの期間に着用（白、黒、グレー、ネイビーの4色）
- 名札シール
  - ・令和元年5月から11月の間、RWC2019開催都市ロゴマークシールを名札に貼付

#### 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加

- ・平成29年度から平成30年度の2年間で、小型家電の提供が211,139キログラムあり、プロジェクトを通じて市民のリサイクル意識が向上



マグネットシート（公用車等）  
（平成31年1月から令和元年10月）



ポロシャツ（黒色）  
（平成27年からクールビズ期間に着用）



名札シール（令和元年5月から10月）



## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱③ まちが変わる！

目指す姿

- 都心を中心とした基盤の充実と魅力の創出
- 市民が主体となる文化芸術活動で来訪者を迎える新たな都市の魅力の創造

[区分1]

●まちの魅力向上

#### 豊田市駅東口駅前・まちなか広場の整備

- ・令和元年9月20日に豊田市駅東口まちなか広場(愛称：とよしば)の整備を完了し、供用を開始(拠点施設は木造地上1階建てで延床面積177㎡、芝生広場は面積564㎡)
- ・試合開催日には、おもてなしステージ等として活用

#### 新豊田駅東口駅前広場等の整備

- ・平成31年4月1日に駅前広場(「新とよパーク」)の再整備を完了し、供用を開始
- ・令和元年8月19日に、一般社団法人国土政策研究会が立ち上げた「第5回まちなか広場賞」の特別賞を受賞

#### 矢作川水辺プロジェクト

- ・試合開催日に千石公園及び白浜公園において、河川空間の魅力を市内外に発信する矢作川フェスタを実施し、延べ8,500人が来場

#### 豊田スタジアムの整備

- ・大会に向けて、2基目の大型映像装置の設置や照明設備、音響設備、手すり等の改修を実施



とよしば(豊田市駅東口まちなか広場)



2基目の大型映像装置(豊田スタジアム)



FMXショーケース(矢作川フェスタ)  
(大会期間中、千石公園等)





## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱③ まちが変わる！

目指す姿

- 都心を中心とした基盤の充実と魅力の創出
- 市民が主体となる文化芸術活動で来訪者を迎える新たな都市の魅力の創造

[区分2]

#### ● 「アートにあふれたまち」の推進

##### あいちトリエンナーレ2019

- ・豊田市美術館及び豊田市駅周辺7か所で現代アート作品の展示等を行い、令和元年8月1日から10月14日の75日間で、延べ121,687人が来場
- ・ボランティア174人(延べ1,262人)が活動
- ・豊田会場を盛り上げるための市民団体「とよトリ隊」(登録人数51人)が発足

##### 東京キャラバンin豊田の開催

- ・メインイベントを平成30年7月22日、鞍ヶ池公園プレイハウス芝生広場で実施し、延べ550人が来場

##### 市民によるアートプロジェクトの推進

###### ○とよたデカスプロジェクト

- ・令和元年8月1日から11月2日の間、市民が主体となり、大会を意識したアートプロジェクトをまちなかで4件実施し、約3,500人が来場

###### ○とよた市民アートプロジェクト

- ・令和元年8月から10月の間、高校跡地や旧ビジネス旅館において展覧会等のアートイベントを開催し、約19,000人が来場



あいちトリエンナーレ2019  
(豊田市美術館等)



東京キャラバンin豊田メインイベント  
(平成30年7月22日、鞍ヶ池公園)



とよた市民アートプロジェクト  
(令和元年8月から10月、高校跡地等)



## 3 ビジョン達成への主な取組実績

### 柱③ まちが変わる！

目指す姿

- 都心を中心とした基盤の充実と魅力の創出
- 市民が主体となる文化芸術活動で来訪者を迎える新たな都市の魅力の創造

#### [区分3]

#### ●安全・安心なまちの推進

#### 幹線道路等の整備

- ・幹線道路の拡幅、整備を実施し、安全で円滑な移動に寄与  
国道153号豊田北バイパス平戸大橋区間の新設整備、国道301号野見山工区の拡幅整備  
(都)豊田則定線(高橋)の拡幅整備、(都)平戸橋土橋線の整備  
(都)梅坪堤線の拡幅整備

#### 防犯カメラの設置による市民、来訪者等の安全・安心の確保

- ・豊田スタジアム(117台)及び豊田市駅から豊田スタジアムまでの間(10台)に防犯カメラを設置

#### RWC2019における危機管理体制の検討

- ・試合開催日等において、市災害対策本部が「ラグビーワールドカップ特別チーム体制」を、市消防本部が「ラグビーワールドカップ2019TM消防特別警戒体制」を運営

#### 愛知県国民保護共同実動訓練等の実施

- ・愛知県国民保護共同実動訓練や、大会に向けたテロ等を想定した実動訓練を試合会場及びファンゾーン会場で実施することで大会時の安全対策を強化



高橋の4車線化



平戸大橋の整備



愛知県国民保護共同実動訓練  
(平成31年1月11日、豊田スタジアム等)





### 3 ビジョン達成への主な取組実績

## 柱④ まちを魅せる！

#### 目指す姿

- 国内外での市の魅力の認知度が向上
- 市の魅力を市民が再認識
- 先端技術や観光商品の見える化によるインバウンド観光の増加と地域の活性化

#### [区分1]

- 大会期間中をはじめとする交流機会の創出

#### 豊田市PR動画による魅力発信

- ・PR動画「こんな豊田市知らなかった」をYouTubeに掲載するとともに、大会期間中には、ファンゾーンやおもてなしイベントで放映  
(YouTube視聴回数は、平成29年10月から令和元年12月の間で約260万回)

#### 多言語ウェブサイト「VISIT TOYOTA CITY」を活用した海外への情報発信

- ・「VISIT TOYOTA CITY」に掲載されている情報のうち、観光情報をツーリズムとよたHPに統合、RWC2019に関する情報を豊田市公式ホームページのRWC専用ページに移管
- ・豊田市公式ホームページのRWC専用ページについては、翻訳ページ（英語・イタリア語・ジョージア語）を作成

#### RWC2019におけるおもてなしイベントの実施（再掲）

- ・駅前通りを中心に豊田スタジアムでの試合開催日に実施（詳細はP17参照）

#### 豊田スタジアムで対戦する国への誘客活動

- ・ニュージーランドをはじめ、豊田スタジアムで試合を行う国へ市長・議長がトップセールスを行い、豊田市の魅力等について各国でPRを実施
- ・イタリアにおけるトップセールスでは、イタリアラグビー博物館を訪れたことを契機に「イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展」の開催が実現



豊田市PR動画 キャプチャー



トップセールス（イタリア）  
(平成30年6月30日から7月8日まで)



「イタリア・ニュージーランド博物館 特別展」(大会期間中、松坂屋豊田店)



### 3 ビジョン達成への主な取組実績

## 柱④ まちを魅せる！

#### 目指す姿

- 国内外での市の魅力の認知度が向上
- 市の魅力を市民が再認識
- 先端技術や観光商品の見える化によるインバウンド観光の増加と地域の活性化

#### [区分2]

##### ●未来を先取る活力ある都市の発信

○試合開催日を中心に各地でPRを実施

#### ①豊田市駅周辺

##### コミュニティバスにおける次世代車両の導入

- ・燃料電池バス2台を、おもいやりシャトルとして活用するとともに、1台を豊田市駅東口ロータリーに展示

##### 先端技術を活用した市の取組のPR

- ・豊田市駅東口ロータリーにて、リニューアル後のエコフルタウンの展示物を中心に先端技術等のPRを実施

#### ②スカイホール豊田

##### SDGs未来都市としてのプロモーション

- ・ファンゾーンにてSDGsのコンセプトブックの配布等の啓発活動を行い、国内外に対してSDGs未来都市としてのプロモーションを実施



おもいやりシャトル  
(試合開催日、新豊田駅等)



先端技術を活用した市の取り組みのPR  
(試合開催日、豊田市駅東口ロータリー)



コミュニケーションロボット  
(試合開催日、エコフルタウン)



### 3 ビジョン達成への主な取組実績

## 柱④ まちを魅せる！

#### 目指す姿

- 国内外での市の魅力の認知度が向上
- 市の魅力を市民が再認識
- 先端技術や観光商品の見える化によるインバウンド観光の増加と地域の活性化

#### [区分3]

#### ●観光プロモーションの推進

#### 美味しいとよたのPR

- ・令和元年度、ラグビー日本代表選手や名古屋グランパスの選手などに対して、計4回豊田市産の農産物（梨、桃、新米）を贈呈

#### 外国語観光マップの製作

- ・市が発行している観光マップの更なる多言語化を進め、大会期間中にファンゾーン及びインフォメーション、市内公共施設で配架

#### 主要観光地と都心における案内看板・標識等の多言語化推進、再整備

- ・都心：大会期間中までに、新豊田駅～豊田スタジアム・スカイホールへの動線等のサイン施設30基について新設、更新
- ・主要観光地：平成30年度に多言語看板89基を整備、令和元年度に多言語看板32基を整備

#### 交通案内サービスの推進

- ・平成31年4月から、Googleマップによる経路検索が新たにおいでんバスも含め、日・英語で行えるように変更



農産物贈呈（ラグビー日本代表）  
（令和元年8月29日、豊田市役所）



インフォメーション  
（試合開催日、とよしば）



サイン施設（新豊田駅等）



### 3 ビジョン達成への主な取組実績

## 柱④ まちを魅せる！

#### 目指す姿

- 国内外での市の魅力の認知度が向上
- 市の魅力を市民が再認識
- 先端技術や観光商品の見える化によるインバウンド観光の増加と地域の活性化

#### [区分4]

#### ●大会期間中のおもてなし推進

#### 緑につつまれた都心の創出

- ・大会までに緑化モデル施設を作成し、豊田スタジアムまでの沿線（白浜公園の橋詰広場）に設置することで、緑に包まれた休憩施設及び写真スポットとして活用

#### フラワーロード・スタジアムアベニューの整備

- ・KITARA及びコモ・スクエア周辺に、壁面緑化機材2基、花飾り機材（ワイヤーバスケット30基、写真スポット1箇所）等を設置し、来訪者へ緑と花によるおもてなしを実施



休憩施設及び写真スポット  
（大会期間中、白浜公園の橋詰広場）



写真スポット  
（大会期間中、KITARA周辺）





## 4 おもてなしイベントについて

- 実施場所 とよしば、GAZA南広場、駅前通り、駅東口ロータリー、豊田参合館、矢作川河川敷、その他市内各地域
- 開催日、入場者数

日時	9月		10月		
	23日	28日	5日	12日	
	月・祝	土	土	土	
時間	10:00 ～ 22:00	10:00 ～ 22:00	10:00 ～ 22:00		台風19号 の接近に より中止
入込客数	27,100人	34,400人	45,800人		

- 主なイベント内容

物販（飲食、グッズ等）、ステージ・体験イベント等を実施

- ・とよしば：「おもてなしステージ」
- ・GAZA南広場、駅前通り：「WELCOMEとよたフェスタ」、「Toyota Street Market」&「Bear & Farm Toyota」（日替わりで実施）
- ・駅東口ロータリー：次世代モビリティの試乗体験など
- ・豊田参合館：「まるごととよた展」、「おいでんアートおもてなしフェア2019」
- ・矢作川河川敷：「矢作川フェスタ」

※その他の関連イベント（一部）

- ・令和元年9月20日から10月11日の間で、「イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展」を松坂屋豊田店で実施し、延べ13,000人が来場
- ・大会期間中に豊田市美術館で開催された「クリムト展ウィーンと日本1900」と連携して大会のPRを実施







## 5 ファンゾーンについて

●実施場所 スカイホール豊田

●開催日、入場者数

日程	9月			10月							11月	合計
	20日	23日	28日	5日	12日	13日	19日	20日	26日	27日	2日	
	金	月・祝	土	土	土	日	土	日	土	日	土	
時間	15:00 ～ 22:00	15:00 ～ 22:00	12:00 ～ 22:00	12:00 ～ 22:00	台風19号 の接近に より中止	15:00 ～ 22:00	15:00 ～ 21:15	15:00 ～ 21:15	15:00 ～ 19:00	15:00 ～ 20:00	15:00 ～ 20:30	
延入場者数	2,780人	12,674人	15,090人	11,272人		7,192人	1,553人	4,300人	1,445人	1,246人	2,880人	60,432人

### ●主なイベント内容

- ①400インチの大型スクリーンによるパブリックビューイング
- ②ステージイベント  
(開催都市特別サポーターによるライブ、  
出場国にちなんだワールドパフォーマンス  
ステージ等)
- ③ラグビー体験
- ④飲食ブース
- ⑤コマーシャルパートナーブース





# 6 ラグビーワールドカップ2019™

## ●ラグビーワールドカップ2019™概要

- 開催時期 2019年9月20日（金）～11月2日（土）計 44日間
- 参加チーム 20チーム
- 試合数 全48試合 予選プール40試合（5チーム×4プール※総当たり）  
決勝トーナメント8試合（準々決勝4、準決勝2、3位決定戦、決勝）
- 試合会場 日本全国12会場

## ●愛知県・豊田市での開催実績

会場である豊田スタジアムでは以下の4試合が予定されていたが、10月12日のニュージーランド v イタリアの試合は台風19号の接近により中止となった。

開催された3試合では販売チケットは完売となった。

日程	対戦カード	キックオフ	試合結果	入場者数
9月23日（月・祝）	ウェールズ v ジョージア	19:15	43 - 14	35,545人
9月28日（土）	南アフリカ v ナミビア	19:45	57 - 3	36,449人
10月5日（土）	日本 v サモア	19:30	38 - 19	39,695人
10月12日（土）	ニュージーランド v イタリア	台風19号の接近により中止		